

◆ 目次 ◆

- 1 「伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶」
- 2 「総領事館からのお知らせ」
- 3 「寄稿」
- 4 「領事便り」
- 5 「広報・文化便り」
- 6 「日本関連行事等のお知らせ」
- 7 「ケベック州・大西洋4州政治経済情勢」

1 伊澤修在モンリオール日本国総領事挨拶

このところ寒暖の格差が激しい日が続きますが、皆様如何お過ごしでしょうか。

数日前から3年程前に公邸に植えられた一本の桜が咲き始めました。初めてモンリオールの冬を過ごした者として、この厳しい冬をよく乗り越えたものだと感心し、そしてよく頑張ったと褒めてあげています。桜の関係では、ケベック市の日ケベック友好協会より、今月末に開かれる桜祭りへの案内を頂きました。楽しみにしています。

日本では令和が始まりました。先週から当館で祝賀記帳を受け付けましたが、当地の各国総領事を始め、ケベック州政府、モンリオール市の関係者の方々等、多くの方々に記帳を頂き、日本政府を代表して、皆様に深く感謝申し上げます。特に各国総領事団から多くの記帳を頂いたことは、新天皇の即位が国際社会において広く祝されていることを示す証左として心強く感じました。総領事館としては、新天皇の即位を祝して、6月7日に公邸にてささやかな祝賀行事を行うこととしました（因みに、天皇皇后両陛下の結婚記念日は6月9日です）。限られた時間ですが、お祝いのための楽しい催しにしたいと思います。

モンリオールはこれから夏に向かいます。これから当地では、様々な国際的な行事、文化行事が開かれ、この数ヶ月は1年で一番盛り上がる時期だと聞いています。私自身は、まだ、モンリオールの夏を知りませんのでとても楽しみです。また、昨年に着任以来、ケベック州、ノバスコシア州、プリンスエドワードアイランド州、ニューブランズウィック州を訪問しました。訪問時は雪と氷に包まれていたこの地域が、これから素晴らしい季節を迎えますので、少し気が早いですが、皆様と一緒に楽しみたいと考えています。

2 総領事館からのお知らせ

- (1) 2019年5月、6月の休館日のお知らせ
5月20日(月) National Patriot's Day

6月24日(月) Quebec National Holiday

3 寄稿 ～モントリオール日本商工会 前会長 堀井正雄より～

2015年3月から2019年3月の4年間モントリオールに駐在しました。

その間、仕事、商工会、プライベートにて感じたことを徒然なるままに書かせて頂きます。駐在中、皆様には大変お世話になりました、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

私の会社は1989年よりケベックにてアルミ製錬所への事業投資を行っており、モントリオール市内に事務所を構えております。現場はモントリオールよりセントローレンス川沿い北東1000キロ程度離れた、Sept Îlesというところにあります。私はちょうど7代目の現地管理者となります。アルミは電気の塊と言われ、ケベック州はその豊富な水力発電を生かして北米大陸におけるアルミ原料の生産供給基地となっております。

合併事業のパートナーはNorsk Hydro社(ノルウェー)、AMAG社(オーストリア)、RioTinto社(イギリス・オーストラリア系)とAlbecour(ケベック州政府投資公社)と当社も含め5社、製錬所運営側はケベコアが主体となっており、実に国際色豊かな参加者となっております。これだけ多国籍なメンバーで、取締役会議、各種委員会が頻繁に行われ、毎回白熱した議論となりますが、不思議と最後には意思統率がとれてしまうことにいつも感心させられます。ケベコアの多様性に対する寛容性、まさにダイバーシティ文化をここに感じました。

仕事、プライベートを通じて出会ったケベコアの方々の特徴を思いつくままに挙げれば、人懐っこいがシャイ、義理人情に厚い、直接的な表現を避けユーモアを交えた表現を好む、階層社会は認めながらもフラットな関係、仲間意識を非常に大事にする、またルールに固執しすぎず運用面における柔軟性を模索する、一方で誇り高く頑固な一面もあるなど、案外日本人と共通する点もあるのではと思いました。

モントリオールは英連邦王国であり、イギリスに対する独特な思いは、私が最初に駐在したオーストラリアと同様に感じられましたが、それよりフランスに対する意識が強く、この複雑な二重構造が、このユニークな文化慣習を育てているのでは無いかと考えさせられました。

Joie de vivre の精神に則り、人生の楽しみ方も上手で、会議の後はチームビルディングと称して、夏はサーモン釣りキャンプに出かけたり、冬はスノーモービルで凍った湖や森の中をツーリングしたりと、エンジョイさせて頂きました。

モントリオール日本商工会は、わずか民間企業8社と小所帯であり、それ故にアットホームで密度の濃いお付き合いを皆様とさせて頂いたことは私自身にとって大きな財産となりました。

ケベック独立運動の影響も受け90年代後半以降、多くの日系企業がオンタリオに拠点を移転し、モントリオールの商工会企業数は大幅に減少しましたが、依然ここで事業継続されている企業、また新たに進出された企業の方々の逞しさに敬意を表するとともに、今後再び企業数を増やして行くにはどうすれば良いか悩むところです。これからIT、AI産業、医療の研究開発への期待はかかりますが、既存の製造業も含め、ケベックと日本、お互いの強みを持ち寄り、どのように成長してゆくべきか、これは両者にて考えるべき課題と考えます。

商工会として日本語補習校に関わる機会も頂き、感じたことが2つあります。

1 点目は重要な日本人コミュニティとしての位置付けです。日本語センターや日系文化会館同様、日系の方々が交流し情報共有する貴重な場として益々その規模、重要性が増しているということです。

2 点目は、特に現地在住のご子息の方々の比率が高まる中で、今後の日本のグローバル教育の重要な拠点となる可能性を秘めていると感じました。子供達は平日、現地校（仏語、英語）で頑張り、自由に過ごしたいはずの週末を我慢しても、日本語で同じアイデンティティを共有できる仲間との時間を大事にしたいという思いもあるようです。トリリンガルな彼等が将来、日本とカナダ他海外との橋渡しとなる事を期待しております。

モンリオール在住の方々にはお世話になるとともにその逞しさに感心させられました。

レストラン、食品関係、医療関係、フリーで事業を営む方、民間、公的機関で勤務されている方、研究、勉強されている方、ユニークなケベック文化に溶け込みながらも、しっかりとした信念を持って生きる皆様の姿に触れて、私も大いに勇気づけられました。

モンリオールで出会った皆様と共に過ごした一期一会の贅沢な時間に感謝です。またどこかでお会いできる日を楽しみしております。

モンリオール日本商工会 前会長
Marubeni Metals & Minerals (Canada) Inc. 前社長
堀井 正雄

4 領事便り

(1) 当館管轄州での6月の領事出張サービスについて（再度のご案内）

当館では、モンリオールから離れた地域にお住まいの皆様のために、領事出張サービスを実施しています。

6月の領事出張サービスについて、以下の日程で実施しますので、お知らせいたします。近隣にお住まいの皆様におかれましては、是非この機会をご利用くださいますよう宜しくお願いいたします。

○ケベック市領事出張サービス

日時 : 2019年6月9日(日) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後3時

場所 : Holiday Inn Express Quebec Sainte-Foy

住所 : 3145 Avenue des Hotels, Quebec, QC, G1W 3Z7

申込締切 : 2019年5月29日(水)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_QC_20190609.html

○シャーロットタウン領事出張サービス

日時 : 2019年6月15日(土) 午前10時~午後12時, 午後1時~午後2時30分
場所 : The Hotel on Pownal
住所 : 146 Pownal Street, Charlottetown, PEI, C1A 3W6
申込締切 : 2019年6月5日(水)

【詳細】 https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday_PEI_20190615.html

平成31年度の領事出張サービス実施予定については、こちらをご確認ください。

<https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/jp/consular/oneday.html>

領事出張サービスに関するご照会は、当館領事班までお問合せください。

電話 : 514-866-3429 (代)

E-mail : consul@mt.mofa.go.jp

5 広報・文化便り

当館では、日本関連行事に関する情報を随時募集しております。皆様ご自身が実施される日本関連行事のほか、知り合いの方についての情報を (culture@mt.mofa.go.jp) までお知らせください。毎月末までに原稿をいただければ翌月のメールマガジンに掲載することができます。ホームページへの掲載は随時行います。

(1) 日加修好90周年記念事業の募集

2019年は、2018年に続いて、日本とカナダが外交関係設立90年目を祝います。これは2018年が日本の公使館をカナダに設立して90年目に当たり、2019年がカナダの公使館を日本に設立して90年目に当たるためです。日加両首脳により「日加協力新時代」と名付けられた日加関係を、両国間の幅広い協力・交流を通じて一層盛り上げていくため、今年も引き続き日加修好90周年を記念するにふさわしい事業を募集し、「日加修好90周年記念事業」として認定します。

周年事業として認定された事業は、広報媒体(ポスター、パンフレット、チラシ、プログラム、ウェブサイト、看板、垂れ幕等)に「日加修好90周年事業」の名称と新しいロゴマークを使用いただくことができるほか、管轄地区にある大使館又は総領事館の「日加修好90周年記念行事カレンダー」に掲載されることとなります。奮って御参加ください。

日加修好90周年記念事業の認定基準、申請方法等、詳細はこちらからご確認ください。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/90th_event_2019.html

6 日本関連行事等のお知らせ

* 以下の日本関連行事は、必ずしも当館が共催、後援、保証している行事ではありません。また、同行事にて表明される意見等は日本国政府の公式見解とは異なる内容を含み得ます。行事詳細については、各主催団体へ直接お問合わせください。

* 外部のサイトへのリンクは、あくまでも皆様への御参考情報です。外部のサイトに掲載されている内容や信頼性に関しましては、当館は一切責任を負いませんので御了承ください。

(1) 日加修好90周年記念事業

ア ラヴァル大学でのイベント (ケベック市)

(ア) 日仏語ランゲージエクステンジ

日時：(隔週月曜日) 5月27日, 6月10日

(仏語) 19時~19時45分 (日本語) 19時45分~20時30分

場所：ラヴァル大学日本館

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant

Espace Japon, niveau 00

参加無料

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.bibl.ulaval.ca/web/programmation-culturelle/espace-japon-immersion-francaise-japonaise>

(イ) エスパス・ジャポン書道部による書道展示会

寺本小鳳先生指導のラヴァル大学エスパス・ジャポン書道部の生徒による作品の展示会が行われます。

日時：9月29日(日)~12月15日(日)

場所：ラヴァル大学図書館4階

Bibliothèque de l'Université Laval

Pavillon J.-C. -Bonenfant, niveau 4

イ 展示会「Un hommage au New Yorker」

雑誌「The New Yorker」のオマージュで、「The Tokyoiter」「The Parisianer」

「Le Montrealer」のイラストレーションの展示が行われます。

期間：3月29日(金)~6月9日(日)

場所：Maison de la culture Notre-Dame-de-Grace de Montreal

3755, rue Botrel, Montreal

無料

詳細はこちらからご確認ください。

http://www.accesculture.com/activite/UN_HOMMAGE_AU_NEW_YORKER

ウ モントリオール市立植物園でのイベント (植物園入園料がかかります。)

(ア) 日本館展示「Hiroshima, la vie en heritage」

モントリオール市と姉妹都市でもある広島市に関する展示が行われます。

期間：5月15日(水)~10月31日(木)

場所：モントリオール市立植物園日本館

4101 rue Sherbrooke Est, Montreal

問合せ先 : 514-872-0607

詳細はこちらからご確認ください。

<http://calendrier.espacepurlavie.ca/hiroshima-the-legacy-of-life-857793>

(イ) 生け花インターナショナルモントリオール支部華道展

「Ikebana, l'ART des fleurs/ Ikebana, the ART of Flowers」

日時 : 6月1日(土) ~ 2日(日) 10時 ~ 18時

場所 : モントリオール市立植物園日本館トヨタホール

4101, rue Sherbrooke Est, Montreal

(植物園入園料がかかります。)

詳細はこちらからご確認ください。

<http://calendrier.espacepurlavie.ca/ikebana-the-art-of-flowers-865414>

エ 桜祭り・ピクニック (ケベック市)

日時 : 5月26日(日) 11時 ~ 14時頃まで

場所 : l'arboretum du Domaine Maizerets

(白い館の方ではありませんので、ご注意ください。)

1395 Rue D' Estimauville, Quebec

参加費 : 無料 (事前申し込みの必要はありません。)

詳細はこちらからご確認ください。

(雨天の際、太鼓の演奏は行われませんが、下記のサイトより場所をご確認ください。)

<https://www.facebook.com/associationdamiciequebecJapon/>

オ 草月流生け花展示会「Connecting!」 (ノバスコシア州)

日時 : 6月1日(土) 10時 ~ 17時 (14時 : 生け花デモンストレーション), 2日(日)

12時 ~ 16時

場所 : ルーネンバーグ図書館

Lunenburg Library, Lunenburg Academy, First Floor,

97 Kaulbach St, Lunenburg, NS

無料

カ YATAI MTL 2019

日本のストリート・フード・フェスティバルです。

日時 : 6月14日(金) ~ 16日(日)

場所 : Marche des Possibles

5635 St Dominique, Mile End

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.facebook.com/events/march%C3%A9-des-possibles-5635-st-dominique/yatai>

(2) その他のイベント

ア 公演：「阿国」

演劇, 和楽器, アニメーションで綴る歌舞伎の創始者「出雲阿国」の物語。演出・制作: Sylvie Belleau, 出演: 安原嘉代, 草野幸吉, Elisabeth Caty, アニメーション: 青木義乃。5月7日よりチケット販売開始。

日時: 5月23日(木) 19時半

場所: Maison de la culture Ahuntsic-Cartierville
10300 rue Lajeunesse, Montreal

詳細はこちらからご確認ください。 <https://www.accesculture.com/activite/OKUNI>

イ モントリオール・コミック・アート・フェスティバル

日時: 5月24日(金) ~ 26日(日)

場所: Espace La Fontaine

無料

詳細はこちらからご確認ください。 <http://www.fbdm-montreal.ca/en/>

ウ 麴から作る・味噌作りワークショップ (ノバスコシア州)

事前登録が必要です。

日時: 6月1日(土) 9時半~14時半

場所: Halifax Shambhala Centre (1084 Tower Road, Halifax)

参加費: 100ドル(早割有) + オプション・持ち帰り味噌15ドルから(未熟成)

詳細はこちらからご確認ください。

<https://ordinaryfamilyfoodlife.ca/news/miso-making-workshop-spring-2019-digby-halifax/>

エ Alex Henry Foster コンサート

当地ロックバンド Your Favorite Enemies のリーダーでヴォーカルの Alex Henry Foster がモントリオール国際ジャズフェスティバルに出演します。ステージ背景に日本で撮影したミュージックビデオの映像が流れるほか、日本語の朗読が入った曲も披露します。

日時: 7月5日(金) 開場20時, 開演21時

場所: Club Soda

1225 St-Laurent, Montreal

詳細はこちらからご確認ください。

<https://www.facebook.com/events/563364297506915/>

オ 第5回ウエストマウント室内楽ワークショップ

ヴァイオリニスト白石茉奈氏ほか, ピアノ, チェロ, コントラバス奏者5名の講師陣によ

る室内楽ワークショップが開催されます。講師陣、参加者によるコンサートも行われます。現在、ピアノと弦楽器奏者を対象に参加者を募集しております。昼の部、大人の参加者のための夜の部もあります。

期間：8月9日（金）～8月18日（日）

詳細はこちらからご確認ください。 <https://wchambermusicw.wordpress.com>

問合せ先： wchambermusicw@gmail.com または 514-621-6885（白石）

7 ケベック州・大西洋4州政治経済情勢

（1） 政治

ア ケベック（QC）州

- ・4月2日、前立腺がんの治療のため公務を調整する旨発表していたラポーム・ケベック市長は、治療前最後となる市議会に出席。
- ・4月3日、著名な哲学者であるチャールズ・テイラー氏は、政教分離に関する法案21を強く批判し、この種の法案が可決されるとすれば恥であると発言。
- ・4月3日、ルゴー州首相は、チャールズ・テイラー氏の発言は同氏自身の勧告を否定していることになると発言（当館注：テイラー氏は2008年に同法案のベースとなる研究報告書を発表した経緯があるが、2年前のケベック市でのモスク襲撃事件を契機とし現在では自身の考察を撤回）。
- ・4月4～6日、プラント・モントリオール市長は世界都市会議出席のためアルゼンチンを訪問。
- ・4月9日、ブランシェ・ブロック・ケベコワ（BQ）党首は10月の連邦総選挙にペロイユ＝シャンブリー選挙区から出馬することを表明。
- ・4月19日、ケベック州政府はカナダ軍に州西部で起こった洪水被害に対する支援を要請。
- ・4月22日、世界アースデー活動の一環として州政府に対し気候変動対策に取り組むよう数百名の若者が州議事堂前で抗議活動を実施。
- ・4月26日、ケベック州政府は、仏語国際競技大会のシェルブルック市での開催誘致を財政難を理由に中止とすることを決定。

イ 大西洋4州

- ・4月25日、連邦政府は、海洋保護区（MPA）指定区域における石油ガス開発、海洋採掘、海洋投棄、底引き網漁を含む産業活動を原則として禁止とすると発表。同時にニューファンドランド島南西岸とノバスコシア州ケープブレトン島の間広がるロレンシャン海峡を新たに海洋保護区に指定。連邦政府は、海洋生物多様性保全のため、2020年までにカナダの海と沿岸地域の10%を保護区にするという目標を掲げているが、今回の決定により8.2%を達成した。

ウ ニューファンドランド・ラブラドル（NL）州

- ・3月31日23：59、ニューファンドランドがカナダ連邦に加盟して70年を迎えた。
- ・4月1日、州政府と連邦政府は、NL州のオフショア石油ガス開発で得られる収益の分配について取り決めた「大西洋協定」を更新。NL州は同協定により、今後37年間で総額25億加ド

ルの収入を得る見込み。

- ・ 4月4日、州議会開会。
- ・ 4月16日、州予算発表。州の多額の負債を減らし増税を凍結することを約束する内容。州政府と連邦政府との間で先日更新された大西洋協定により、今後37年間にわたって支払われる予定の総額25億加ドルのおかげで、今年度は190万加ドルの黒字となる見込み。
- ・ 4月16日、ボール州首相は、5月16日に州議会総選挙を実施すると発表。

エ プリンズエドワードアイランド（PEI）州

- ・ 4月23日、州議会総選挙実施。結果は進歩保守党12議席、緑の党8議席、自由党6議席、空席1議席。進歩保守党が12年ぶりに政権獲得するも少数派政権となる。少数派政権がPEI州で誕生するのは州史上初で、緑の党が野党第1党になるのはカナダ初。同時に実施された現在の単純小選挙区制から小選挙区比例代表併用制への変更是非を問う州民投票の結果は、27選挙区中、変更に賛成は15選挙区、反対は12選挙区。「賛成」の得票数は約49%となり、現在の選挙制度維持が決定。
- ・ 4月24日、キング州進歩保守党党首は、新政府では正式な連立は追求せず、ケースバイケースで各党と協力しながら政権運営していきたい、そのためには他党の公約を一部採り入れる用意があると述べた。
- ・ 4月26日、マクローラン州首相兼州自由党党首が、党首辞任を発表。自由党は23日の総選挙で10議席を減らし惨敗し、マクローラン氏自身も議席を失っていた。

オ ノバスコシア（NS）州

- ・ 4月12日、州議会閉会。州議会は、臓器提供拒否を表明しない限りは提供に同意しているとみなすとの北米初となる臓器提供法案が可決。一方、可決されればカナダ初であった生物多様性法案は、さらなる審議を必要とし今会期中の採択を見送り。
- ・ 4月16日、フューリー州法務大臣は、警察による職務質問を当分の間禁止する旨発表。ハリファックスでは黒人は白人に比べて職務質問される回数が6倍多いという第三者機関による報告が3月末に発表され、人種プロファイリングに対する警察への批判が高まっていた。
- ・ 4月17日、海面上昇により浸食が懸念される堤防強化のため、州政府と連邦政府は1億1,400万加ドルを支出する旨発表。
- ・ 4月23日～5月4日、グラヴィーン州文化大臣が2度目の文化ミッションで中国と日本を訪問。中国では、NS州と姉妹都市関係にある広東省で、延期されていたNS州出身画家モード・ルイス展を視察予定。同ミッションでドイツと英国も訪問予定。
- ・ 4月24日、マーガレット・ミラー州環境大臣が腕の怪我の治療のため大臣職を辞任。後任に林業専門家のゴードン・ウィルソン州議会議員が就任。
- ・ 4月25日、マクニール州首相は、2017年に発効したカナダEU包括的経済貿易協定（CETA）を活用し、対欧州輸出・交流拡大を目指すための戦略計画「ノバスコシア・ヨーロッパ・エンゲージメント・ストラテジー」を発表。欧州はNS州にとってアメリカ、中国に次ぐ第3の輸出先。NS州は2016年に対中国の類似の戦略計画を発表している。
- ・ 4月29日～5月15日、マクニール州首相が貿易ミッションでアイルランド、オランダ、ポ

ルトガル, ベルギー, フランス, 中国を訪問。欧州へはハリファックス・ダブリン直行就航便で出発し, 航空会社, 海洋テクノロジー, 通信, シーフード, 高等教育機関関係者とのミーティング実施予定。中国広東省ではマ広東省省長やベドリントン在広州カナダ総領事とのミーティング, モード・ルイス展視察等を予定。NS州・中国直行便の話し合いも継続して実施する。

カ ニューブランズウィック (NB) 州

・ 4月15～17日, 本官のNB州公式訪問。ヒッグス州首相, ギター州議会議長の表敬, 移民受入支援団体視察, ウィルソン州経済開発・中小企業大臣, ウェットモア州農業・養殖・水産大臣, オブライエン・フレデリクトン市長, デコーシー連邦下院議員, 大学関係者, 日系コミュニティとの意見交換等実施。

・ 4月17日, 連邦政府の発表で2017年のNB州による温室効果ガス排出量は14.3メガトンで2005年比の28%減となり, カナダがパリ協定で削減目標としている水準(2030年までに2005年比で30%削減)に近づいたことを受け, カー州環境大臣は, NB州が目標達成のために(連邦政府による)炭素税課税を必要としていないことが証明された, と述べた。しかしこの排出量は, 前自由党政権が制定し, 現進歩保守党政権も維持を決定している気候変動法で定められる目標水準(2030年までに10.7メガトンに抑える)からは程遠い。

- ・ 4月16日, 唯一の立候補者であったケヴィン・ヴィッカーズ氏が, 州自由党党首に選出。
- ・ 4月18日, 英仏2言語を公用語とすると宣言した州公式言語法施行から50年。
- ・ 4月23日, 2年連続で州が洪水に見舞われる中, ヒッグス州首相は, 水害の危険性の高い地域での建築許可等の制度を見直すと発言。
- ・ 4月24日, フレデリクトンとモンクトンを結ぶトランスカナディアン道路が, 洪水のために封鎖。

(2) 各州世論調査結果 (未確定分は除く)

ア 州議会選挙 (政党支持率)

- ・ PEI州 (ナラティブ・リサーチ社調べ, 4月12～15日) : 緑の党35%, 進歩保守党32%, 自由党29%, NDP3%
- ・ PEI州 (MQOリサーチ社調べ, 4月11～16日) : 緑の党40%, 進歩保守党29%, 自由党26%, NDP3%
- ・ PEI州 (フォーラムリサーチ社調べ, 4月18, 20, 22日) : 進歩保守党35.3%, 緑の党34.3%, 自由党25.7%, NDP4.6%, その他0.1%

イ 連邦議会選挙 (政党支持率)

- ・ QC州 (レジェ・マーケティング社調べ, 4月18～22日) : 自由党31%, 保守党23%, 新民主党 (NDP) 6%, ブロック・ケベコワ23%, 緑の党9%, 人民党 (PPC) 4%, その他4%

(3) 経済

ア QC州

- ・ 4月1日、旭化成が出資するバイオ・テクノロジー研究開発会社「フェルダン・テラプティックス」は、がん治療などに使用可能な特許技術の臨床試験を2年以内に開始出来る見込み。
- ・ 4月3日、ルフトハンザ・テクニク AG社はモントリオールにおける航空機エンジンメンテナンス業務の拡大により3年で50名の雇用創出を見込む。
- ・ 4月7日、エネルギー・天然資源ミッションのためジュリアン・エネルギー・天然資源大臣がベルリン・エネルギー転換対話（BETD）に参加。
- ・ 4月8日、セキュリティシステムサービス会社「フォーティカ」は、企業向けクラウドシステムセキュリティサービス向上に関する契約を日立システムズセキュリティから受注。
- ・ 4月17日、連邦政府は新予算案に含まれていた環境対応車購入の補助金制度詳細を発表。5月1日以降、規定の完全電気自動車、充電式ハイブリッド車（バッテリー15kwh以上）の購入または48ヶ月以上のリース契約者に対し5,000加ドルの補助金が支給され、州政府の補助金制度分を合算すると補助金の総額は最大1万3千加ドルとなる。
- ・ 4月17日、ボンバルディア社の機密情報を入手したとされ同社から提訴されている三菱航空機は、ボンバルディア社の機密情報を入手したとの認識は無く全面的に裁判で争う姿勢を表明。
- ・ 4月18日、フィッツギボン州経済・イノベーション大臣が政界入り以前からビジネス上の繋がりを持つギー・ルブラン氏がケベック投資公社社長に就任。
- ・ 4月22日、5%の温室効果ガス削減を目指すニューヨーク市はケベック電力公社（イドロ・ケベック）から2020年までに電力供給を受けたい意向を表明。同契約は成立すれば3億3,500万加ドル規模の契約となる見込み。
- ・ 4月24日、モントリオール市は2020年から使い捨てる発泡スチロールとプラスチック容器の使用規制を検討。
- ・ 4月28日、カナダを訪問中の安倍首相とトルドー連邦首相は、東京に本社を置くゲーム制作会社スクエアエニックス傘下のアイトス・モントリオールの社屋拡張と100名規模の新規雇用を発表。
- ・ 4月29日、州エネルギー局はブロックチェーンや仮想通貨業者向けの電力供給量を300メガワットとし、供給レートはキロワット時3,46セントと当初のレートを据え置く方針を発表。

イ NL州

- ・ 4月1日、最低賃金が25セント増の時給11.40加ドルに引き上げ。
- ・ 4月17日、連邦環境評価局は石油開発大手のエクイノールとエクソンモービルに対し、ニューファンドランド島東沖のフレミッシュパス海盆とジャンヌ・ダルク海盆における試掘を許可。

ウ PEI州

- ・ 4月1日、最低賃金が70セント増の時給12.25加ドルに引き上げ。
- ・ 4月2日、連邦環境・気候変動省は、州東部のロコ・ベイの養殖場で計画されている、アクアバウンティ（米企業）による遺伝子組み換えサーモン「アクア・アドバンテージ・サーモン」の商業生産を許可。
- ・ 4月17日、シャーロットタウン市は、インフラ投資によるコスト増を理由として、7年ぶり

に平均25%の水道料金値上げを発表。

エ NS州

- ・ 4月1日、最低賃金が55セント増の時給11.55加ドルに引き上げ。
- ・ 4月3日、州政府は州電力民営化法と電力再編成法を改正。改正法は、電力企業エメラ株式の外資保有上限を撤廃する一方、同社とその子会社であるノバスコシア・パワーの本社と主要経営陣が州内に留まることを義務付ける。かつては州公社であったノバスコシア・パワーは1998年に民営化され、同時にエメラが持ち株会社として設立された。
- ・ 4月3日、ノルウェーのサーモン養殖大手で三菱商事の子会社であるセルマックは、サーモン養殖場と関連施設の建設可能性を探るため、州内数か所の現地調査を開始すると発表。
- ・ 4月8日、ミラー州環境大臣は、アルトン天然ガス貯蔵ドーム建設プロジェクトを改めて許可。同プロジェクトは、ハリファックスから北東60kmの所に位置するアルトンに天然ガス貯蔵ドームを地下に建設するもので、近郊の川の水質汚染を懸念するシペクネカティック・ファーストネーションが反対している。州環境大臣は、2016年にいったん出した建設許可を再審査するよう州上級裁判所から命じられていた。
- ・ 4月16日、ハリファックスの世論調査会社コーポレート・リサーチ・アソシエイツ（CRA）は、経営者交代にとめない「ナラティブ・リサーチ」に社名を変更。
- ・ 4月18日、州政府は、現在ハリファックス市ホリス・ストリートにあるアート・ギャラリー・オブ・ノバスコシアが、同市内ウォーターフロントに移転する旨発表。新たに建設される建物の予想総工費の1億3,000万加ドルのうち、8,000万加ドルは州政府が、3,000万加ドルは連邦政府が支出し、残りの資金はアート・ギャラリーが調達する。プロジェクトは今後公募にかけ、建設開始・完成時期は未定。
- ・ 4月23日、州環境省は、製紙企業ノーザンパルプが処理済み排水をノーサンバー海峡へ直接放出する計画について、さらなる情報の提示を求めた。
- ・ 4月25日、州政府は、ケープ・ブレトン市のニュー・ウォーターフォードとノース・シドニーの2病院建て替え工事を官民パートナーシップ（PPP）で行う旨発表。

オ NB州

- ・ 4月1日、最低賃金が25セント増の時給11.50加ドルに引き上げ。
- ・ 4月30日、昨年10月に営業を開始した州営合法大麻販売店のカナビスNBは、初年度となる2018年度に1,170万加ドルの損失を計上。

[在モントリオール総領事館メールマガジン]

○このメールマガジンは送信専用アドレスから送信されています。本メールあてに直接返信なさらないようお願いいたします。本メールマガジンに関する御意見・御要望は以下のメールアドレスあてに送信してください。 emagazine@mt.mofa.go.jp

○配信中止・配信先変更を希望される方は、「配信中止（又は登録解除）」、「配信先変更」を希望する旨明記の上、 emagazine@mt.mofa.go.jp まで御連絡願います。登録完了後に確認のメ

ールが届きます。

ただし、在モンリオール総領事館ホームページ内の読者登録ページから登録を行った方は、同ページ内の、「利用者情報の変更／削除」から同様の手続きが行えますので、そちらを御利用ください。

○バックナンバーの閲覧は、以下のホームページからお願いいたします。

https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itpr_ja/mailmag.html

○参考ホームページ

首相官邸ホームページ（www.kantei.go.jp）

外務省ホームページ（www.mofa.go.jp/mofaj/）

在カナダ大使館ホームページ（www.ca.emb-japan.go.jp）

当館ホームページ

（https://www.montreal.ca.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html）

当館 Facebook（www.facebook.com/JapanConsMontreal）

○発行：在モンリオール日本国総領事館

Consulate General of Japan in Montreal

1 Place Ville Marie, Suite 3333,

Montreal, Quebec, H3B 3N2, Canada

○本メールマガジンからの転載を希望する場合は総領事館メールマガジン担当

（emagazine@mt.mofa.go.jp）まで御相談ください。

